

新任医師の紹介

< 7 月赴任医師 >

■ 総合内科・磯貝 京子 医師

ACP(人生会議)研修会開催

「もしものとき」にどうしたいか、ACP(人生会議)について考えてみませんか？

～大事なことから、気持ちや考えを大切な人に伝えておきませんか～ パートII

静岡県看護協会が主体となり、牧之原市や吉田町の保健師、看護師、介護福祉士、看護補助者、ケアマネージャーなどで構成される「看看連携お茶の香みらいく」は、地域の医療と介護の質向上を目指し、2018 年から継続的に活動を行っています。6 月 21 日(土)、当院を会場に地域住民を対象とした「ACP(人生会議)」研修会を開催し、91 名の方々にご参加いただきました。

◆ACP(Advance Care Planning)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体にそのご家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことです。ACPの目的は、最期まで尊厳を尊重した人間の生き方に着目し、希望に沿った最適な医療やケアを受けられるようにすることです。具体的には、病状や治療方針、本人の意向・価値観、希望の医療やケア、最期をどのように迎えたいのかなどを話し合います。

〈研修内容〉

1. 人生会議とは

2. 人生会議を行った事例について

3. 終活、人生会議ノートの説明

石井内科・皮膚科医院 石井眞澄先生による講義
榛原総合病院、介護老人保健施設あじさい、
よしりハ訪問看護ステーション・訪問看護ステーションわかば 看護師による事例報告
牧之原市「私の心覚え帳」、吉田町「わたし色ノート」について、両市町の保健師より説明



【牧之原市 私の心覚え帳】【吉田町 わたし色ノート】

〈参加者からの感想〉

「ACP(人生会議)の研修を通じて、自分自身の人生をどのように生きたいか、どのように終えたいかを考える重要性を再認識しました。これまではなかなか考える機会がなかったことですが、研修を受けて、口から食べられなくなることが自然現象であり、老いと死が人生の延長線上にあることを解しました。尊厳を守りながら生きることの大切さにも気づき今後の自分自身の生き方について、より意識的に考えていきたいと思えます。また、人生会議を通じて、他者とのコミュニケーションの重要性も改めて感じました。」

次回の研修を楽しみにしている参加者もあり、ACPの理解が広がることを期待されている。



ボランティア連絡協議会活動報告

< 7 月の活動 > ありがとうございました

7 月 1 日(火) ボランティア連絡協議会 (七夕飾りつけ)

7 月 8 日(火) ボランティア連絡協議会 (七夕飾りかたづけ)

< 短冊マメ知識 > 七夕には、5 色の短冊を飾ることが定番で、それぞれの色には意味があり、願い事に合った色の短冊に書くことで、願い事がかないやすくなるといわれています。

・青(緑)の短冊…『仁』、人間力を高める願い事 ・赤の短冊…『礼』、両親や先祖への感謝 ・黄色の短冊…『信』、人間関係に関すること ・白の短冊…『義』、規則や義務を守ること ・紫(黒)の短冊…『知』、学業の向上

< おねがい > 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。